

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【新玉小学校】



<第1学年：むかしからつたわる あそびをたのしもう>

年度当初から継続して関わりのある地域ボランティアの方々に、こまやお手玉、竹とんぼなどの昔から伝わる遊びを教えてもらい、一緒に遊んで交流を深めた。児童は普段あまり馴染みのない遊びについて、方法やコツを教わることで、その面白さをよく理解した。振り返りの活動では、楽しかったことや気付いたことを伝え合った。さらに、教えてくださった方々に感謝の気持ちを伝えようと、お礼の手紙を書き、今後の交流につなげた。



<第6学年：自分らしい生き方をえがこう>

国際理解の学習では、世界には恵まれない環境で生活している人々がたくさんいることを学んだ。また、キャリア教育の学習では、自分の仕事に誇りをもち自分らしく生きている方々との出会いから「自分らしく生きる」ことについて考えた。

これらの学びを生かし、「自分らしく生きる第一歩」として「自分たちにできること」を考え、先輩から引き継いだモザンビークやカンボジアへの支援活動に取り組んだ。2月上旬には、自分たちが手作りした小物を全校児童にチャリティーバザーで販売した。モザンビークやカンボジアの人たちは支援をする相手としてではなく「友達」だと捉え、友達の笑顔のために行動し、自分たちも笑顔になれるという思いをもって取り組んだ。

例年、この支援活動を十分理解していただき、協力してくださる保護者や地域の方々の温かさを感じる活動である。